

介護職員基礎研修科 受講生募集

<介護職員基礎研修とは>

介護職員基礎研修は、平成18年に厚生労働省により作られた公的資格であり、国家資格である「介護福祉士」の一つ下に位置する資格です。厚生労働省は平成24年度を目処にホームヘルパー1級課程を廃止し、いずれは2級課程においても介護職員基礎研修に統合する予定です。上級レベルではありますが、未経験の方でもチャレンジ可能な資格です。

訓練終了後に取得できる資格
名称「介護職員基礎研修修了」

認定機関：株式会社ジアス（岐阜県指定介護養成研修事業者）

訓練目標・仕上がり像

介護分野の総合的な基礎知識と技能・技術を習得することによって、「介護職員基礎研修修了」の資格取得を行い、介護分野への就職に結びつける。

介護職員基礎研修修了を取得すると・・・

- ・特別養護老人ホーム、グループホーム等の施設
- ・通所介護事業所（デイサービス施設）
- ・訪問介護事業所（ヘルパーステーション）

等で介護職員として就業が可能です。

<その他就職支援>

- ・就職相談
- ・履歴書の作成指導
- ・面接指導
- ・ジョブカード作成支援
- ・求人情報の提供等

【訓練期間】平成24年9月3日～平成25年3月1日

〔訓練時間〕9:30～16:10

〔休講日〕土曜・日曜・祝日、他不定期に5日間

【募集期間】平成24年7月2日～平成24年7月31日

【受講条件】住所管轄のハローワークに就職申込をされている方

【定員】30名（申込者が少数の場合は開講できなくなることがあります。）

【費用】テキスト代17,600円、健康診断 8,000円
施設実習交通費 11,200円

【職業訓練受講給付金】

ハローワークの支援指示を受けて求職者支援訓練等を受講する方が一定の要件を満たす場合に支給されます。

- 支給額：職業訓練受講手当 月額10万円
- 通所手当：通所経路に応じた金額

※詳細につきましては管轄のハローワークにお問い合わせください。

【申し込み】住所管轄のハローワークで「受講申込書」の交付を受け下記まで郵送または持参してください。

（郵送の場合は締切日必着・持参の場合は平日9時～18時まで、締切日まで受付ます。

<事前説明会のご案内>

7/18(水)、7/20(金)、7/24(火)
7/26(木)

11:00～、14:00～(下記住所にて)

※参加希望の方は事前予約をお願いします。(当日予約可)
※求職者支援訓練の説明から、訓練内容まで詳しくご説明いたします。

※車椅子等を使った簡単な介護体験も実施予定
※下記までお気軽にお問い合わせください。



【交通アクセス】

- JR穂積駅から徒歩18分
 - 国道21号線犀川前交差点より車で約5分
- ※駐車場完備 無料

<訓練実施機関>・<訓練実施施設>

[訓練場所・問い合わせ先・申込書送付先]

株式会社ジアス

TEL:058-326-8555

担当：藤岡 〒501-0223 瑞穂市穂積1814番1

【選考会日時】

平成24年8月6日(月)
9:30~18:00(終了予定)

- ・応募者多数の場合は時間を変更することがあります。
 - ・選考会開始時間の15分前までに必ず受付を済ませてください。
 - ・面接時間は1時間程度です。面接開始時間は申し込み受理後、追って連絡をさせていただきます。
- ※選考会には、受講を希望される方(お申込みされた方)は、必ず出席してください。
- ※選考会への参加を取り止める場合は、株式会社ジラス(担当:藤岡)まで必ずご連絡ください。

【持ち物】

筆記用具、ノート

【選考結果通知】

平成24年8月10日(金)

【選考場所】

株式会社ジラス(訓練場所と同じ)

住所: 瑞穂市穂積1814番1

TEL: 058-326-8555

【選考内容】

面接

訓練内容・訓練カリキュラム

	科目	科目の内容	訓練時間
訓練 内容	入所式・オリエンテーション	・入所式:訓練の概要説明・諸注意等(3H)	
	生活支援の理解	人間理解と尊厳、生活の考え方、福祉の支援の考え方、介護の基本的な視点と意義、利用者の権利と尊厳	36
	サービスの理解	高齢者保健福祉制度と施策、障害者福祉制度と施策、その他制度・施策、社会保障制度改革の背景	36
	疾病/障害の理解	加齢と生理、高齢者に多い疾病の医学的理解、感染症の理解と予防、疾病、障害と生活支援、訴えと症状の理解	36
	認知症の理解	認知症の医学的背景の理解、認知症の心理・行動の理解、認知症の利用者への支援・家族へのケア	36
	コミュニケーション	介護の考え方・視点、介護におけるコミュニケーションと信頼関係形成、高齢者・障害者(児)の理解と心のケア	36
	生活支援と家事援助	「生活支援」の枠組みの中における家事援助(技術)の意義・役割、高齢者・障害者(児)に対する家事援助の機能と基本原則	36
	医療提供者との連携	医療・看護との連携の基礎的理解、訪問看護の基礎的理解、医療機器、医療用具、薬の基礎的理解	36
	社会福祉援助技術	介護におけるソーシャルワークの基礎的理解、困難事例に対する援助活動の展開、虐待防止、消費者被害、権利擁護への対応	36
	アセスメントと計画	生活プランの考え方、ケアプランとサービス計画の内容・機能、ケアプランとサービス計画の作成手順	36
	倫理と職務	介護職員の職業倫理、生命倫理、サービス提供時の契約と留意事項、報告・会議・記録	36
	安全衛生	安全衛生の概要、安全衛生の重要性、基本作業の遵守	6
	職業能力基礎講習	コミュニケーションの基本、ビジネスマナー、自分の強み・弱みの表現、自己アピール、仕事に必要な能力、社会人としての職業観	42
	就職支援	就職相談・履歴書の作成指導・面接指導・求人情報の提供・公共職業安定所の就職説明会の周知(12H)	
修了式	修了式:修了証書授与等(3H)		
実 技	コミュニケーション(演習)	脱健着患声掛け介助・三点歩行声掛け介助・基本的な介護方法及び対応	72
	事前演習	実習の目的・経験目標・実習中の態度・心構え・職員との関係→報告、連絡、相談	9
	介護実習(所外)1[施設・居住型]	グループホームをはじめとした施設・居住型介護施設での企業実地研修	80
	介護実習(所外)2[通所型]	デイサービス施設をはじめとした通所・小規模多機能施設での企業実地研修	32
	介護実習(所外)3[訪問介護]	訪問介護ステーションをはじめとした訪問介護施設での企業実地研修	8
	介護実習(所外)4[地域の社会資源]	地域の社会資源を訪問・活動の見学、参加・活動者に対するインタビュー	4
	事後演習	実習の経験内容・反省点・経験目標の達成度確認	9
<input type="checkbox"/> 職場体験 <input checked="" type="checkbox"/> 職業人講話 <input type="checkbox"/> 職場見学 <input type="checkbox"/> その他		・職業人講話(6H×2回)	12
企業実習		<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	
訓練時間総合計		634時間	学科 408時間 実技 214時間 職場体験等 12時間
受講者の負担する費用		教科書代 17,600円 その他(施設実習交通費・健康診断) 19,200円	合計 36,800円
指導 方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	■全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	プロジェクターや資料を配布して、より一層理解を深めてもらうようにする。	
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	アンケート・小テストにより、受講者の理解度を把握しながら、講義を進めていく。	